

この作品の “ここ” に注目!

足がすくんだ時、一歩踏み出す勇気をくれた一言。いつまでも心に焼きついているシーン。いつかは食べてみたいメニュー。ひとりひとり違う「わたしだけの〇〇」をインタビュー!



Q. あなたの“ここ”は?

きんしゅう 『錦繡』宮本輝/著 新潮社

Q. ちょっとくわしく!

この小説は、悲しい出来事から別れに至った2人が、紅葉の蔵王で10年の歳月を隔て再会したところから始まった往復書簡により物語が展開します。再会前、主人公には受け止めきれない事実のみが存在していましたが、手紙の交換という非日常によって事実以上のできごとが種明かしのように連なっていきます。

Q. なぜ選んだのか

3月は別れの季節です。現実の別れに種明かしはなく、謎は謎のまま、誤解は解かれぬまま日々を過ごすことかと思えます。本作の紹介に、主人公が「生きることと死ぬことは、同じことなのかもしれない」と語る部分が引用されることがありますが、字面から受ける印象よりずっと前向きな意味に感じます。分かり得ない別れであっても、足りないものを補い、時には目を瞑り、痛みを和らげながら生きていく。自分の心いっぱい散らばってしまった事実の断片も、そうやってきれいに折りたたまれて片付けられていくのではないかと、そんな感覚にさせてくれます。

Q. 普段、どんな作品を鑑賞しますか?

最近ではなかなか時間が取れませんが、岐阜を舞台にした2020年の「麒麟がくる」以降、大河ドラマだけは継続して鑑賞しています。引き込まれるストーリーとともに歴史の新解釈が取り入れられていることが多く、付加価値として楽しんでいます。

休館日のお知らせ

- … 図書室休館日
- … 全館休館日

2025 3 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

編集後記：私もすきノートを始めようとしています。が、こだわりすぎてノートを決められません。(悠)

岐阜市立図書館

中央図書館	9:00 - 20:00	058-262-2924
分館	9:00 - 21:00	058-268-1061
長良図書館	9:30 - 17:00	058-233-8170
東部図書館	9:30 - 17:00	058-241-2727
西部図書館	9:30 - 17:00	058-234-1633
長森図書館	9:30 - 17:00	058-240-2702
柳津図書館	9:30 - 17:00	058-388-1232

<https://www.g-mediacosmos.jp/lib/>

GIFU CITY LIBRARY NEWS LETTER

3

2025

本のお宝帳 リーダーの集いを開催!

岐阜市立図書館では、『本のお宝帳』という読書ノートを岐阜市内の小学校に配布しています。

このノート、子どもたちが本を読んで感じたことをイラストなどで自由に書き込めるもので、お宝帳1冊につき本を50冊記録でき、50冊を読破するごとに各図書館・図書室の窓口で証となるシールを貼ってもらえます。そして完成したお宝帳の冊数により「サブリーダー」、「リーダー」、「マスター」、「グランドマスター」の称号が与えられるのです。

先日このお宝帳を6冊以上完成させた子どもたちに、よる「リーダーの集い」を開催。2年生から4年生まで6人の子どもたちが集まりました。

緊張しながらも、自分で選んだおすすめ本にまつわるクイズを考えパネルに書く展示づくりでは、2問目を作りたい!と積極的な子どもたちもいました。そして、日ごろは入れない閉架書庫を館長と一緒に探検!図書館に何度も来たことがある子どもたちも、初めて入る場所に興味津々。

リーダーだけの特別な時間を楽しみました。

リーダーのみんなには、これからもいろいろな方法でお友達や周りの人たちに「読書っておもしろいよ!楽しいよ!」を伝えていってほしいなと思っています。子どもたちが作った展示は3月9日(日)までエントランスグループでご覧いただけます。



岐阜市立図書館

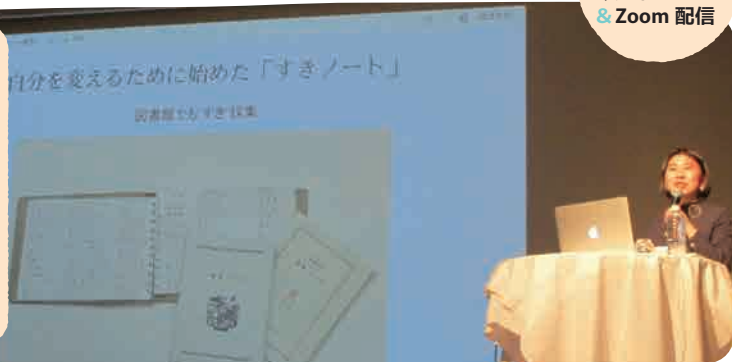
「すき」を見つけて心を豊かに

読書推進トークイベント 暮らすように「すき」を楽しむ

ゲスト: 甲斐みのりさん 文筆家

1/25(土) みんなのホール & Zoom 配信

甲斐みのりさんをお招きし、講演会を開催しました。「すき」を集める日々の暮らしのこと、岐阜の好きなところ... 生き生きと、柔らかく語っていただきました。



大学生のとき、挫折をきっかけに始めたすきノート

人と比べて自分は何もできていないと暗い気持ちを抱えるなかで、状況を変えるために始めたのが「すきノート」。ノートいっぱいに好きなものを集められたら、きっと変えられると暗示をかけ、コレクションしていきました。身の回りの好きなものを並べるだけではノートは埋まらず、積極的に外に出て集めるように。今では悲しい時、寂しい時にたくさんの好きなものが自分を支えてくれているのだそうです。また、スマートフォンの地図アプリで行きたいところに星マークをつけ、やりたいこと、行きたいところがこんなにあるからまだ死ねない!と、日々の生活を生き生きと楽しむ様子を語っていただきました。

わたしの岐阜すきノート

お店やお土産など、岐阜の好きなものをたくさん紹介してくださいました。岐阜市民会館の壁のタイルは、抱きつきたいぐらいお気に入りなのだそうです。すきスイッチを押すと、いつもの街並みが輪郭を持ち、色づいていく。やらなければならないことに追われて余裕がなくなりがちな毎日ですが、視点を変えれば自分で1日1日を楽しめる。どんなところにも好きなものを見つけて、自分の暮らしを楽しみたいと思えるお話でした。

質問タイム 少しご紹介

Q. 自分の好きなことをするために時間を使うことに罪悪感を覚えています。

A. 「今から30分は自分の好きなことをしよう。そのあとはしっかりやることをやろう。」と時間を決めてメリハリをつけるといいかもしれません。楽しむときはしっかり楽しむ!

すきスイッチ、オン! 図書館、ここがすき! を見つけてみた

甲斐さんを職員エリアにご案内した時、「トイレトペーパーの箱のデザインがかわいい!」と写真を撮り、イベントで紹介していただきました。そんなところまで!? と、甲斐さんのアンテナの鋭さに驚きました。図書館で働く職員にとっては日常的に見る景色でも、じっくり見てみると魅力的なところはまだまだある!? 好きな場所を見つけるモードで、館内を歩いてみました。



夜に見上げてみると、どんがり屋根にライトがきれい。



児童エリアの本棚 かわいいな〜 おばけのモチーブかな?

児童エリアの床に花! 天井のライトと影でできたアート。



レファレンスカウンター 時計の下に かわいい子たち 高島純先生の許可を得て 司書が作った 「ペンギンたんけんたい」 もいます!

「しろべるビー」という名前があるよ。

ぜひ館内をじっくり巡っててください!

にゃん吉のこのアングル! 本物の猫をなでているような気分になれる〜



中央 イベント

受付状況は図書館ホームページ「イベント」でチェック! ▶



page1 読書会 [ぎふライブラリークラブイベント]

小説の一部分を切り取って味わう読書会

当日紹介される小説の一部分を参加者みんなで読み、感想を語り合います。どんな作品のどんな文章に出会えるかはお楽しみ!お気軽に手ぶらでご参加ください。

日時: 3月21日(金) 午後6時30分~8時

場所: シビックプライドライブラリー

定員: 7名

申込: 岐阜市立中央図書館の窓口、電話、応募フォームにて受付

※見学のみの参加もできます。窓口・電話の場合は「ギャラリー席への参加」とお伝えください。応募フォームの場合は、選択欄より選択してください。

岐阜市立中央図書館 岐阜市司町 40-5 TEL: 058-262-2924

中央 NEWS

みんなのLIVEラリーを開催しました



ピアニストの五島史誉さんも加わりミニ演奏会

図書館という本に囲まれた空間で聴くクラシックは格別!アンコールを含め7曲演奏してくださいました。

2/1 (土) 読んで、奏でて、生きてきた。 ゲスト: 平光真彌さん

各務原市出身のヴァイオリニスト

プロの音楽家になるまで・影響を受けた本にまつわるトーク

同じ和音を使っている作曲家によって見えている色や景色が異なり、その曲が楽譜に至るまでの経緯や作曲家の思いを知ること、よりリアリティをもって演奏できる、と楽譜の解説もよく読むようにしているのだそうです。音楽家という、普段の生活で出会えない人のお話を通じて新たな世界を垣間見た気がしました。

私が作る、わたしの「」。 ゲスト: 廣瀬良倫さん



ごこくしじ 護国寺(岐阜市長良雄総)住職

警察官を10年勤めた後、婿養子として寺の住職になるという異色の経歴を持つ廣瀬さん。高野山での1年間の修行の話や、1日10時間以上の過酷な正座にまつわるエピソードなど、ユーモアを交えて語ってくださいました。

コロナ禍以降のライフワーク、長良の郷土史コラム編集

岐阜には何もないとよく言われるけれど、調べていくといいな、と思うことがたくさんある。さまざまな資料から長良地区の情報を集め、書きたいと思ったテーマが200項目ほどあったそうです。その中から、松尾芭蕉の『奥の細道』にまつわるエピソードを紹介してくださいました。『奥の細道』に掲載されている62の俳句のうち1句が、長良で米屋を営む低耳という人物が詠んだ句なのだそうです。誰もが知るあの有名な作品が、一気に身近に感じられる!という廣瀬さんの言葉に大きくうなずく姿がみられました。コラム集は2冊書籍化されており、今後も増えていく予定です。中央図書館にもありますので、ぜひ読んでみてください。

郷土のはなし

図書館の展示から見る・知る・考える防災

今年の1月に、展示の入れ替えを行いました。テーマは「防災」です。「この辺りで大きな地震が起きたら、メディコスが避難場所になるの?」「岐阜市はどんな備えをしているの?」などの情報を関連本とともに集め、展示しました。また、災害時に役立つサイトを掲載した、お持ち帰りいただける資料もご用意しております。今年は能登半島地震から1年が経ち、さらに阪神淡路大震災発生から30年を迎える節目の年でもあります。ご自宅での対策、図書館滞在時に地震が発生した場合の避難経路の確認など、この機会に防災について一緒に考えてみませんか。展示期間は2025年5月26日(月)までの予定です。



おすすめ 本

イメージをふくらませて

【新着図書】物語が動き出す演出アイテム図鑑

山うた/著 SBクリエイティブ (726.5/ヤ)

「机の上には日記が置いてあります」この言葉からどんな風景を想像しますか。その日記は誰かの忘れ物?それとも自分のもの?無造作に置かれている?鍵はかかっている?物語を演出する小道具に目を向けてみませんか。

物が語ることもあるかもしれない...物語だけに?



日本の美しいことばと配色

南雲 治嘉/著 グラフィック社 (757.3/ナ)

「ひなまつり」「萌ゆ」「暁」といった日本ならではのことばからイメージされる配色を紹介した本です。はかない色、粹な色、きらびやかな色。色とことばが魅せる世界を覗いてみませんか。

まるで色の標本を眺めているみたいですよ!



目でみることば

おかべ たかし/文 山出 高士/写真 東京書籍 (812/オ)

ことばの源泉は意外なところにあります。例えば「高飛車な人」の「高飛車」は元々将棋の戦法の一つで、「凶星だった」の「凶星」は弓的的中心にある黒い丸を意味します。ことばのイメージが変わりそうな一冊です。

思わず人に話したくなってしまいませんか?



予約 BEST 5

紙の書籍

- 1 架空犯 東野 圭吾/著 幻冬舎 Fヒガ
- 2 成瀬は天下を取りにくい 宮島 未奈/著 新潮社 Fミヤ
- 3 クスノキの女神 東野 圭吾/著 実業之日本社 Fヒガ
- 4 キレイはこれでつくれます MEGUMI/著 ダイヤモンド社 595 X
- 5 頭のいい人が話す前に考えていること 安達 裕哉/著 ダイヤモンド社 336.4 ア

電子書籍

- 1 変な家2 11の間取り図 雨穴/著 飛鳥新社
- 2 休養学 あなたを疲れから救う 片野 秀樹/著 東洋経済新報社
- 3 おさんぽダイエット 石原 広華/著 自由国民社
- 4 きみのお金は誰のため ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」 田内 学/著 東洋経済新報社
- 5 山崎先生、お金の「もうこれだけで大丈夫!」を教えてください。90分で一生役立つお金の授業 山崎 元/著 Gakken

西部 NEWS

パソコンと大活字コーナーを移動しました!

西部図書室では、パソコンコーナーと大活字本コーナーを北側の目につきにくい場所から窓口カウンター南に移動しました!南から日差しが差し込む場所なので明るい場所で本を探して頂けると幸いです。お近くにお越しの際はぜひご利用ください。

